



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 予備自衛官招集訓練を支援



天幕設営の様子



体力検定の様子



本部長と談笑する予備自衛官



訓練が終了し、予備自衛官旗を返還



永年勤続表彰式

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子（陸佐））は、12月5日（金）～12月9日（火）の間、宇都宮駐屯地で第307施設隊が担任する、今年度4回目となる予備自衛官招集訓練（5日間）を支援した。

本予備自衛官招集訓練では、社会人との二足のわらじを履く119名の予備自衛官が出頭し、射撃訓練、体力検定、格闘訓練の他、様々な訓練を実施した。

出頭した予備2陸佐は、「予備自衛官として年々自覚ある行動が取れてきており、勤務態度や服务意识が向上していると感じる」と訓練出頭への気持ちを語っていた。

訓練期間中、永年勤続者表彰として勤続20年の予備自衛官1名へ陸幕長表彰の伝達及び勤続5年の予備自衛官3名に対し、栃木地本長表彰を実施した。

陸幕長表彰の伝達を受けた予備自衛官からは、「表彰を受けられたこと嬉しく思います。これまで以上に訓練に励んでいきたいです」と意気込みを語っていた。また、栃木地本長表彰を受けた予備自衛官は、「表彰していただき嬉しいです。手も上がり、訓練出頭への意欲が非常に高まっています。引き続き、予備自衛官として働いていきたいです」と力強く語っていた。表彰伝達終了後、昨今の厳しい募集環境を鑑み、予備自衛官に対し常備自衛官の募集協力依頼を実施し、情報提供を呼びかけた。

栃木地本では「地本に与えられた各種目標達成のため、援護・予備自衛官等が一丸となってあらゆる機会を活用して相乗効果を発揮を図りつつ、目標達成に向け邁進していく」としている。



左から隊友会長、永年勤続5年地本長表彰者3名と栃木地方協力本部長



左から隊友会長、永年勤続20年陸幕長表彰者1名と栃木地方協力本部長